

6月2日(金)の開港記念日から、 書籍「横浜港 埋立と築港の技術と歴史」を販売開始します！

本書は、2022年6月の横浜みなと博物館のリニューアルに伴い、新たに設けた「埋立と築港の技術と歴史」展示室の内容をまとめるとともに、展示では語りきれなかったエピソードを多く収録しています。

横浜港の歴史のみならず、埋立と港町横浜のまちづくり、さらには海洋土木技術の面白さなど、豊富な図版を用いて紹介、楽しく学べる1冊となっています。

1 概要

題名：『横浜港 埋立と築港の技術と歴史』
編集：横浜市港湾局
発行：公益財団法人 帆船日本丸記念財団
体裁：A4判 フルカラー 88頁

横浜みなと博物館ミュージアムショップで 令和5年6月2日(金)より販売開始

場所：横浜みなと博物館ミュージアムショップ
横浜市西区みなとみらい2-1-1
横浜みなと博物館館内

発売日：令和5年6月2日(金) 開港記念日より

価格：1,000円(税込)

※ショップのみご利用される方は入館料不要です

※オンラインショップでもご購入いただけます

オンラインショップのQRコード



『横浜港 埋立と築港の技術と歴史』
表紙

2 目次(主な内容)

- ・江戸時代初期～吉田新田から始まった横浜港の埋立～
- ・横浜の築港の夜明け(パーマーの築港計画)
- ・横浜発展の基礎をつくった実業家による埋立(高島嘉右衛門、浅野総一郎)
- ・日本初の近代埠頭、新港ふ頭
- ・根岸湾臨海工業地帯づくりと根岸線の開通
- ・六大事業の埋立～みなとみらい21事業と金沢地先埋立事業～
- ・コンテナ埠頭化の時代(本牧、大黒、南本牧)
- ・現在進められている新本牧ふ頭の埋立
- ・横浜港の埋立と築港の歴史[年表]

